

場	時	主な学習の流れ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えをもつ場【拡散的思考】	①	現代社会の特色や文化、さまじりの意義、現代社会の見方・考え方について捉える。	・資料を基に、現代社会に関わる基本的な事項をまとめ、社会の状況を踏まえながら理解している。	・追究課題について、切り口を考察し、比較した上で意思決定している。	・現代社会の特色を捉えた上で、追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。
	②	社会の状況を捉え、追究課題を確認する。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M①】  追究課題「対立を解消し、合意をめざすために、重視すべき考え方は何か」 切り口A「効率」 切り口B「公正」	・資料を基に、現代社会に関わる基本的な事項をまとめ、理解している。	・追究課題について、切り口を考察した上で意思決定している。	・現代社会の特色を捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。
			○発言の内容(①) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(②) ○「ステップチャート」の記述内容
考えを広げる場【拡散的思考】	③	「効率」の考え方が、リーダー(提案者)とフォロワー(その他の人)に及ぼす影響について捉える。	対立を解消し、合意することにつながる点(☆)・つながらない点(★)		
	④	「公正」の考え方が、リーダー(提案者)とフォロワー(その他の人)に及ぼす影響について捉える。	対立を解消し、合意することにつながる点(☆)・つながらない点(★)		
	⑤	意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M②】【M①】	対立を解消し、合意することにつながる点(☆)・つながらない点(★)		
	⑥	【個々の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、「ステップチャート」を使いながら意思決定した過程を説明し、検討する。議論の中で出された意見を基に、自分が意思決定した過程を振り返る。 意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M③】【M②】	対立を解消し、合意することにつながる点(☆)・つながらない点(★)		
			対立を解消し、合意することにつながる点(☆)・つながらない点(★)		
			対立を解消し、合意することにつながる点(☆)・つながらない点(★)		
考えを創り上げる場【収束的思考】	⑦	【立場の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、複数の立場の意見を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを議論する。これまでの学習内容や本時に議論したことを振り返り、「どうすれば、対立を解消し、合意することができるか」について考える。 【RM①】  概念的知識「リーダー(提案者)がより早く多くの人の意見を聞き、フォロワー(その他の人)が平等に参加することができれば、対立を解消し、合意することができる」	対立を解消し、合意することにつながる点(☆)・つながらない点(★)		
	⑧	各班で、概念的知識を踏まえて合意するための解決方法を考える。	対立を解消し、合意することにつながる点(☆)・つながらない点(★)		
	⑨	【集団の討論】 概念的知識を踏まえて、どのような合意案が最もふさわしいかを学級全体で議論する。	対立を解消し、合意することにつながる点(☆)・つながらない点(★)		
	⑩	概念的知識を他の事例に当てはめて考える。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【収M①】【M③】	対立を解消し、合意することにつながる点(☆)・つながらない点(★)		
	⑪	単元テストを行う。	対立を解消し、合意することにつながる点(☆)・つながらない点(★)		
	⑫	意思決定した過程とこれまでの学習内容を振り返り、「単元レポート」としてまとめる。【拡・収RM①】【RM②】	対立を解消し、合意することにつながる点(☆)・つながらない点(★)		
		○発言の内容(⑩) ●「ステップチャート」の記述内容 ○単元テスト ○「単元レポート」の記述内容	○発言の内容(⑦~⑨) ●「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容	○「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容	

場	時	主な学習の流れ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度									
考えをもつ場 【拡散的思考】	①	法の意義と日本国憲法の三大原則について捉える。	A ・資料を基に、日本国憲法の三大原則に関わる基本的な事項をまとめ、社会の状況を踏まえながら理解している。	・追究課題について、切り口を考察し、比較した上で意思決定している。	・社会の状況を捉えた上で追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。									
	②	基本的人権、公共の福祉、国民の義務について捉える。												
	③													
	④	平和主義について捉える。	B ・資料を基に、日本国憲法の三大原則に関わる基本的な事項をまとめ、理解している。	・追究課題について、切り口を考察した上で意思決定している。	・社会の状況を捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。									
	⑤	社会の状況を捉え、追究課題を確認する。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M①】	方法 ○発言の内容(①～④) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(⑤) ○「ステップチャート」の記述内容									
	追究課題「国民の人権を守るために、普天間基地をどこに移設すべきか」 切り口A「沖縄」 切り口B「愛知」													
考えを広げる場 【拡散的思考】	⑥	「沖縄」に移設することが、沖縄の人々と愛知の人々に及ぼす影響について捉える。	国民の人権を守ることにつながる点(☆)・つながらない点(★)											
	⑦	「愛知」に移設することが、沖縄の人々と愛知の人々に及ぼす影響について捉える。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>沖縄の人々の立場</th> <th>愛知の人々の立場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沖縄</td> <td>☆米兵が生活することにより、消費活動が活発になり、経済が活性化する。 ☆米軍による活動で、地域交流や清掃活動が行われることにより、生活が良くなる。 ★現在でも米軍による事故が多発しており、安心して生活できない。 ★海洋における天然記念物などに悪影響が出る。</td> <td>☆新たに基地をつくるスペースを確保しなくて良いため、効率が良い。 ☆基地が他の地域にあることで、事故や事件を増やすことなく、安心して生活ができる。 ★米軍が沖縄に偏っているため、米兵による消費活動が沖縄に偏る。 ★沖縄にある米軍基地の戦略的要衝には含まれるが、距離が遠いため、緊急時の対応が遅れてしまう。</td> </tr> <tr> <td>愛知</td> <td>☆米軍基地を維持する負担が分散されるため、経済的に楽になる。 ☆米軍による事故や事件などが減少するため、安心して生活できる。 ★米軍基地があることで得られていた経済的効果が失われるため、財政が苦しくなる。 ★米軍によって行われていた地域交流などが少なくなり、地域が衰退していく。</td> <td>☆米軍基地による経済的効果により、雇用が生まれたり経済が活性化したりする。 ☆米軍が地域にあることで、緊急時に守ってもらいやすくなる。 ★米軍による事件や事故が増え、治安が悪くなる。 ★人口が多く、米軍基地を移設するスペースもほとんどないため、山や海などを開拓せざるを得なくなり、自然が破壊される。</td> </tr> </tbody> </table>				沖縄の人々の立場	愛知の人々の立場	沖縄	☆米兵が生活することにより、消費活動が活発になり、経済が活性化する。 ☆米軍による活動で、地域交流や清掃活動が行われることにより、生活が良くなる。 ★現在でも米軍による事故が多発しており、安心して生活できない。 ★海洋における天然記念物などに悪影響が出る。	☆新たに基地をつくるスペースを確保しなくて良いため、効率が良い。 ☆基地が他の地域にあることで、事故や事件を増やすことなく、安心して生活ができる。 ★米軍が沖縄に偏っているため、米兵による消費活動が沖縄に偏る。 ★沖縄にある米軍基地の戦略的要衝には含まれるが、距離が遠いため、緊急時の対応が遅れてしまう。	愛知	☆米軍基地を維持する負担が分散されるため、経済的に楽になる。 ☆米軍による事故や事件などが減少するため、安心して生活できる。 ★米軍基地があることで得られていた経済的効果が失われるため、財政が苦しくなる。 ★米軍によって行われていた地域交流などが少なくなり、地域が衰退していく。	☆米軍基地による経済的効果により、雇用が生まれたり経済が活性化したりする。 ☆米軍が地域にあることで、緊急時に守ってもらいやすくなる。 ★米軍による事件や事故が増え、治安が悪くなる。 ★人口が多く、米軍基地を移設するスペースもほとんどないため、山や海などを開拓せざるを得なくなり、自然が破壊される。
		沖縄の人々の立場	愛知の人々の立場											
	沖縄	☆米兵が生活することにより、消費活動が活発になり、経済が活性化する。 ☆米軍による活動で、地域交流や清掃活動が行われることにより、生活が良くなる。 ★現在でも米軍による事故が多発しており、安心して生活できない。 ★海洋における天然記念物などに悪影響が出る。	☆新たに基地をつくるスペースを確保しなくて良いため、効率が良い。 ☆基地が他の地域にあることで、事故や事件を増やすことなく、安心して生活ができる。 ★米軍が沖縄に偏っているため、米兵による消費活動が沖縄に偏る。 ★沖縄にある米軍基地の戦略的要衝には含まれるが、距離が遠いため、緊急時の対応が遅れてしまう。											
	愛知	☆米軍基地を維持する負担が分散されるため、経済的に楽になる。 ☆米軍による事故や事件などが減少するため、安心して生活できる。 ★米軍基地があることで得られていた経済的効果が失われるため、財政が苦しくなる。 ★米軍によって行われていた地域交流などが少なくなり、地域が衰退していく。	☆米軍基地による経済的効果により、雇用が生まれたり経済が活性化したりする。 ☆米軍が地域にあることで、緊急時に守ってもらいやすくなる。 ★米軍による事件や事故が増え、治安が悪くなる。 ★人口が多く、米軍基地を移設するスペースもほとんどないため、山や海などを開拓せざるを得なくなり、自然が破壊される。											
⑧	意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M②】【M①】													
⑨	【個々の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、「ステップチャート」を使いながら意思決定した過程を説明し、検討する。議論の中で出された意見を基に、自分が意思決定した過程を振り返る。 意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M③】【M②】	A ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について、沖縄の人々と愛知の人々の立場ごとに整理して理解している。	・追究課題について、振り分けられた立場に立って資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。										
		B ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について理解している。	・追究課題について、資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。										
		方法 ○発言の内容(⑥・⑦) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(⑧・⑨) ○「ステップチャート」の記述内容										
考えを創り上げる場 【収束的思考】	⑩	【立場の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、複数の立場の意見を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを議論する。これまでの学習内容や本時に議論したことを振り返り、「どうすれば人権が尊重される政策が実現できるか」について考える。【RM①】 <b>概念的知識「財政的に無駄がなく、負担を分担することができれば、人権が尊重される政策が実現できる」</b>	<b>切り口B「愛知」を選んだ班の「政策」例</b> <b>「愛知のセントレアに隣接させる」</b> ・もともとある空港に隣接させることで、新たな土地開発にかかる経済的負担も少ないため、財政的に無駄がない。また、沖縄県外に移設することで、沖縄に偏っていた米軍基地による負担も分担できる。 <b>切り口B「愛知」の生徒への反対意見例</b> ・もともとある施設に隣接させることは、たしかに財政的に無駄がないものだと思うが、名古屋周辺は人口が多い地域なため、騒音や事件・事故による被害が大きくなってしまい、多くの人々の人権を侵害してしまうのではないかと。 <b>切り口B「愛知」の生徒の反論例</b> ・たしかに、より多くの人々の人権が侵害されてしまう可能性が高い。そうすると、人口が少なく、雇用が少ない地域に移設することが望ましい。 議論を基に合意した「政策」の例 <b>「過疎化が進む愛知県の山間部のように、「米軍基地の地理的メリットがある程度守られる地域に移設する」</b>											
	⑪	各班で、概念的知識を踏まえて合意するための解決方法を考える。	集団の討論で予想される生徒の発言例											
	⑫	【集団の討論】 概念的知識を踏まえて、どのような合意案が最もふさわしいかを学級全体で議論する。	A ・概念的知識を社会的事象と結び付けて理解している。	・追究課題について、概念的知識を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。									
	⑬	概念的知識を他の政策に当てはめて考える。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【収M①】【M③】	B ・概念的知識を理解している。	・追究課題について、概念的知識の一部を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。									
	⑭	単元テストを行う。												
⑮	意思決定した過程とこれまでの学習内容を振り返り、「単元レポート」としてまとめる。【拡・収RM①】【RM②】	方法 ○発言の内容(⑬) ●「ステップチャート」の記述内容 ○単元テスト ○「単元レポート」の記述内容	○発言の内容(⑩～⑫) ●「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容	○「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容										

場	時	主な学習の流れ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度									
考えをもつ場 【拡散的思考】	①	民主政治と政治参加、三権分立について捉える。	A ・資料を基に、政治に関わる基本的な事項をまとめ、社会の状況を踏まえながら理解している。	・追究課題について、切り口を考察し、比較した上で意思決定している。	・社会の状況を捉えた上で、追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。									
	②	選挙・政党について捉える。												
	③ ④	地方自治・地方財政について捉える。												
	⑤ ⑥	国会のしくみ・国会の仕事について捉える。	B ・資料を基に、政治に関わる基本的な事項をまとめ、理解している。	・追究課題について、切り口を考察した上で意思決定している。	・社会の状況を捉えた上で、追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。									
	⑦ ⑧	内閣のしくみ・内閣の仕事について捉える。												
	⑨	社会の状況を捉え、追究課題を確認する。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M①】	方法 ○発言の内容(①～⑧) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(⑨) ○「ステップチャート」の記述内容									
		追究課題「よりよい政治を実現するために必要な改革は何か」 切り口A「選挙制度改革」 切り口B「国会・内閣の改革」												
	考えを広げる場 【拡散的思考】	⑩	「選挙制度改革」が、国民と議員・行政に及ぼす影響について捉える。	よりよい政治の実現につながる点(☆)・つながらない点(★)										
		⑪	「国会・内閣の改革」が、国民と議員・行政に及ぼす影響について捉える。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国民の立場</th> <th>議員・行政の立場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>選挙制度改革</td> <td>☆合区によって、一票の格差を減らし、公正な選挙にできる。 ☆インターネット投票を導入することで、若い世代や身体の不自由な人が投票しやすくなる。 ★義務投票制にすることで、事情があつて投票に行けなかった場合にも、罰金を払う必要が出てくる。 ★合区を行うと、一つの県から一人も議員が選出されないことが起こり、県民の声を反映できなくなる。</td> <td>☆投票率が上がることで、より国民の支持を得て議員になることができる。 ☆義務投票制にすることで、より多くの国民の意見を政治に反映させることができる。 ★インターネット投票を導入すると、なりすましや不正投票などの取り締まりを強化する必要がある。 ★比例代表制が廃止されることで、知名度の低い候補が当選しにくくなってしまう。</td> </tr> <tr> <td>国会・内閣の改革</td> <td>☆議員定数を削減することで、本当に必要な数の議員に絞られ、削減した議員報酬を他のことに回せる。 ☆議院内閣制を廃止して首相公選制にすることによって、より国民の声が行政に反映される。 ★一院制にすることによって、国会の制御がきかなくなるおそれがある。 ★議員定数を削減することで、地域の代表となる議員がいなくなり、声が届かなくなるおそれがある。</td> <td>☆衆議院の優越をなくすことによって、両院が対等になり、より慎重に予算や法制定などが審議される。 ☆国会を通年の開催にすることで、継続して問題に対応することができる。 ★議院内閣制を廃止して首相公選制にすることによって、国会と内閣のねじれが生じるおそれがある。 ★議員定数を削減することで、議員の数が足りず政策の実現が困難になったり負担が増大したりする。</td> </tr> </tbody> </table>				国民の立場	議員・行政の立場	選挙制度改革	☆合区によって、一票の格差を減らし、公正な選挙にできる。 ☆インターネット投票を導入することで、若い世代や身体の不自由な人が投票しやすくなる。 ★義務投票制にすることで、事情があつて投票に行けなかった場合にも、罰金を払う必要が出てくる。 ★合区を行うと、一つの県から一人も議員が選出されないことが起こり、県民の声を反映できなくなる。	☆投票率が上がることで、より国民の支持を得て議員になることができる。 ☆義務投票制にすることで、より多くの国民の意見を政治に反映させることができる。 ★インターネット投票を導入すると、なりすましや不正投票などの取り締まりを強化する必要がある。 ★比例代表制が廃止されることで、知名度の低い候補が当選しにくくなってしまう。	国会・内閣の改革	☆議員定数を削減することで、本当に必要な数の議員に絞られ、削減した議員報酬を他のことに回せる。 ☆議院内閣制を廃止して首相公選制にすることによって、より国民の声が行政に反映される。 ★一院制にすることによって、国会の制御がきかなくなるおそれがある。 ★議員定数を削減することで、地域の代表となる議員がいなくなり、声が届かなくなるおそれがある。
		国民の立場	議員・行政の立場											
選挙制度改革		☆合区によって、一票の格差を減らし、公正な選挙にできる。 ☆インターネット投票を導入することで、若い世代や身体の不自由な人が投票しやすくなる。 ★義務投票制にすることで、事情があつて投票に行けなかった場合にも、罰金を払う必要が出てくる。 ★合区を行うと、一つの県から一人も議員が選出されないことが起こり、県民の声を反映できなくなる。	☆投票率が上がることで、より国民の支持を得て議員になることができる。 ☆義務投票制にすることで、より多くの国民の意見を政治に反映させることができる。 ★インターネット投票を導入すると、なりすましや不正投票などの取り締まりを強化する必要がある。 ★比例代表制が廃止されることで、知名度の低い候補が当選しにくくなってしまう。											
国会・内閣の改革		☆議員定数を削減することで、本当に必要な数の議員に絞られ、削減した議員報酬を他のことに回せる。 ☆議院内閣制を廃止して首相公選制にすることによって、より国民の声が行政に反映される。 ★一院制にすることによって、国会の制御がきかなくなるおそれがある。 ★議員定数を削減することで、地域の代表となる議員がいなくなり、声が届かなくなるおそれがある。	☆衆議院の優越をなくすことによって、両院が対等になり、より慎重に予算や法制定などが審議される。 ☆国会を通年の開催にすることで、継続して問題に対応することができる。 ★議院内閣制を廃止して首相公選制にすることによって、国会と内閣のねじれが生じるおそれがある。 ★議員定数を削減することで、議員の数が足りず政策の実現が困難になったり負担が増大したりする。											
⑫	意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M②】【M①】	A ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について、国民と議員・行政の立場ごとに整理して理解している。	・追究課題について、振り分けられた立場に立って資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。										
⑬	【個々の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、「ステップチャート」を使いながら意思決定した過程を説明し、検討する。議論の中で出された意見を基に、自分が意思決定した過程を振り返る。 意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M③】【M②】	B ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について理解している。	・追究課題について、資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。										
⑭	【立場の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、複数の立場の意見を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを議論する。これまでの学習内容や本時に議論したことを振り返り、「どうすれば、よりよい民主政治を実現できるか」について考える。【RM①】	集団の討論で予想される生徒の発言例 切り口A「選挙制度改革」を選んだ班の改革の提案例 「インターネット投票の導入」 ・選挙の投票率を上げさせ、当選した議員が緊張感と使命感をもって政治活動に取り組むことがよりよい政治を実現することにつながると考え、インターネット投票を導入する。これによって、投票の権利を放棄しがちな若い世代や身体の不自由な人も簡単に投票でき、投票率は格段に上がると考えられる。 切り口A「選挙制度改革」の生徒への反対意見例 ・インターネット投票は不正投票が起こりやすく、実現が困難である。実現したとしても不正投票の監視に費用がかかり、余計な税金を投入することになって効率の面で問題がある。 切り口A「選挙制度改革」の生徒の反論例 ・政治は議員だけが行うのではなく、より多くの国民の意見が公正に反映されなければならない。よって選挙の投票率を上げることは、よりよい政治を実現させるためには不可欠だ。ただし、不正投票や費用の心配はあるので、議員定数を減らし、削減した議員報酬の分を制度の整備や監視対策の費用にあてれば、効率のよい選挙や政治を実現できる。 議論を基に決定した合意策の例 「インターネット投票を導入し、同時に議員定数も削減する」	○発言の内容(⑩・⑪) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(⑫・⑬) ○「ステップチャート」の記述内容									
⑮	各班で、概念的知識を踏まえて合意するための解決方法を考える。													
考えを創り上げる場 【収束的思考】	⑯	【集団の討論】 概念的知識を踏まえて、どのような合意案が最もふさわしいかを学級全体で議論する。	A ・概念的知識を社会的事象と結び付けて理解している。	・追究課題について、概念的知識を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。									
	⑰	概念的知識を他の事例に当てはめて考える。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【収M①】【M③】	B ・概念的知識を実現できることを理解している。	・追究課題について、概念的知識の一部を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。									
	⑱	単元テストを行う。	方法 ○発言の内容(⑰) ●「ステップチャート」の記述内容 ○単元テスト ○「単元レポート」の記述内容	○発言の内容(⑭～⑯) ●「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容	○「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容									
	⑲	意思決定した過程とこれまでの学習内容を振り返り、「単元レポート」としてまとめる。【拡・収RM①】【RM②】												

場	時	主な学習の流れ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度									
考えをもつ場 【拡散的思考】	①	裁判所のしくみについて捉える。	A ・資料を基に、国際社会に関わる基本的な事項をまとめ、社会の状況を踏まえながら理解している。	・追究課題について、切り口を考察し、比較した上で意思決定している。	・社会の状況を捉えた上で追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。									
	②	社会の状況を捉え、追究課題を確認する。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M①】				B ・資料を基に、国際社会に関わる基本的な事項をまとめ、理解している。	・追究課題について、切り口を考察した上で意思決定している。	・社会の状況を捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。						
		追究課題「よりよい司法制度にするために、裁判員制度をどうすべきか」 切り口A「存続」 切り口B「廃止」				方法 ○発言の内容(①) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(②) ○「ステップチャート」の記述内容						
考えを広げる場 【拡散的思考】	③	裁判員制度の「存続」が、国民と司法関係者に及ぼす影響について捉える。	よりよい司法制度につながる点(☆)・つながらない点(★)											
	④	裁判員制度の「廃止」が、国民と司法関係者に及ぼす影響について捉える。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国民(裁判員)の立場</th> <th>司法関係者(裁判官・被告人)の立場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>存続</td> <td>☆裁判員になることで、司法を身近に感じたり、関心が高まったりすることができる。 ☆裁判員としての保証やケアがしっかりとされているので、安心して参加できる。 ★二審以降で一審と逆の判決になることが多く、裁判員裁判の意義が無くなっている。 ★重大犯罪ばかりなので刺激証拠を見たり、判決を下したりすることに精神的な負担が大きい。</td> <td>☆国民の感覚と裁判官の専門性を合わせた判決を下すことができる。 ☆通常の裁判よりも審理期間が短いので、より多くの事件を担当することができる。 ★被告人にとっては、司法の素人に裁かれるので、公正な裁判ではなくなる可能性がある。 ★審理期間が短いので、慎重な裁判ができなくなり、えん罪の可能性が高まる。</td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td>☆裁判員に選ばれることが無くなるので、精神的な負担は無くなる。 ☆裁判員制度に関わる税金が必要無くなるので、他に予算を回すことができる。 ★司法に関わる機会が少なくなるので、関心が薄れてしまう。 ★裁判に直接関われ無くなるので、職業裁判官と国民の考えがさらに乖離してしまう。</td> <td>☆裁判員に専門的な知識を教える手間が省けるので、効率的に裁判が進められる。 ☆日数に縛られること無く慎重に裁判を進めることができるので、より公正な判決を下すことができる。 ★審理に時間がかかるので、司法関係者の負担が大きくなる。 ★国民の意見を取り入れる機会が少なくなるので、偏った判決を下してしまう可能性がある。</td> </tr> </tbody> </table>				国民(裁判員)の立場	司法関係者(裁判官・被告人)の立場	存続	☆裁判員になることで、司法を身近に感じたり、関心が高まったりすることができる。 ☆裁判員としての保証やケアがしっかりとされているので、安心して参加できる。 ★二審以降で一審と逆の判決になることが多く、裁判員裁判の意義が無くなっている。 ★重大犯罪ばかりなので刺激証拠を見たり、判決を下したりすることに精神的な負担が大きい。	☆国民の感覚と裁判官の専門性を合わせた判決を下すことができる。 ☆通常の裁判よりも審理期間が短いので、より多くの事件を担当することができる。 ★被告人にとっては、司法の素人に裁かれるので、公正な裁判ではなくなる可能性がある。 ★審理期間が短いので、慎重な裁判ができなくなり、えん罪の可能性が高まる。	廃止	☆裁判員に選ばれることが無くなるので、精神的な負担は無くなる。 ☆裁判員制度に関わる税金が必要無くなるので、他に予算を回すことができる。 ★司法に関わる機会が少なくなるので、関心が薄れてしまう。 ★裁判に直接関われ無くなるので、職業裁判官と国民の考えがさらに乖離してしまう。	☆裁判員に専門的な知識を教える手間が省けるので、効率的に裁判が進められる。 ☆日数に縛られること無く慎重に裁判を進めることができるので、より公正な判決を下すことができる。 ★審理に時間がかかるので、司法関係者の負担が大きくなる。 ★国民の意見を取り入れる機会が少なくなるので、偏った判決を下してしまう可能性がある。
		国民(裁判員)の立場	司法関係者(裁判官・被告人)の立場											
	存続	☆裁判員になることで、司法を身近に感じたり、関心が高まったりすることができる。 ☆裁判員としての保証やケアがしっかりとされているので、安心して参加できる。 ★二審以降で一審と逆の判決になることが多く、裁判員裁判の意義が無くなっている。 ★重大犯罪ばかりなので刺激証拠を見たり、判決を下したりすることに精神的な負担が大きい。	☆国民の感覚と裁判官の専門性を合わせた判決を下すことができる。 ☆通常の裁判よりも審理期間が短いので、より多くの事件を担当することができる。 ★被告人にとっては、司法の素人に裁かれるので、公正な裁判ではなくなる可能性がある。 ★審理期間が短いので、慎重な裁判ができなくなり、えん罪の可能性が高まる。											
	廃止	☆裁判員に選ばれることが無くなるので、精神的な負担は無くなる。 ☆裁判員制度に関わる税金が必要無くなるので、他に予算を回すことができる。 ★司法に関わる機会が少なくなるので、関心が薄れてしまう。 ★裁判に直接関われ無くなるので、職業裁判官と国民の考えがさらに乖離してしまう。	☆裁判員に専門的な知識を教える手間が省けるので、効率的に裁判が進められる。 ☆日数に縛られること無く慎重に裁判を進めることができるので、より公正な判決を下すことができる。 ★審理に時間がかかるので、司法関係者の負担が大きくなる。 ★国民の意見を取り入れる機会が少なくなるので、偏った判決を下してしまう可能性がある。											
	⑤	意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M②】【M①】	A ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について、国民と司法関係者の立場ごとに整理して理解している。	・追究課題について、振り分けられた立場に立って資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。									
⑥	【個々の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、「ステップチャート」を使いながら意思決定した過程を説明し、検討する。 議論の中で出された意見を基に、自分が意思決定した過程を振り返る。 意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M③】【M②】	B ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について理解している。	・追究課題について、資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。										
		方法 ○発言の内容(③・④) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(⑤・⑥) ○「ステップチャート」の記述内容										
考えを創り上げる場 【収束的思考】	⑦	【立場の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、複数の立場の意見を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを議論する。 これまでの学習内容や本時に議論したことを振り返り、「どうすればより良い司法制度となるか」について考える。【RM①】  概念的知識「国民にとって負担が少なく、司法関係者にとって、国民の意見を取り入れながらも裁判の公正さを保つことができれば、よりよい司法制度となる」	集団の討論で予想される生徒の発言例  切り口A「(改良して)存続」を選んだ班の「裁判員制度」例 「軽犯罪のみを扱うように変更する」 ・重大犯罪は刺激証拠や逆恨みなどの負担が大きいので、軽犯罪にすれば国民の負担は少なくなる。司法関係者にとっては、引き続き国民の意見を取り入れながら判決を下すことができるので、裁判の公正さを保つことができる。 切り口A「存続」の生徒への反対意見例 ・軽犯罪は自白で認めることが多いので、国民の意見を取り入れる必要性が無いのでは。重大犯罪こそ、国民の意見を取り入れることでより公正な裁判になると思う。 切り口A「存続」の生徒の反論例 ・重大犯罪に裁判員制度を導入する意義は大きい。しかし、負担が大きいことも事実なので、裁判員に選ばれた人が犯罪の内容を選択できるようにできると良い。 議論を基に合意した「裁判員制度」の例 「裁判員が重犯罪か軽犯罪か内容を選択できるようにする。」											
	⑧	各班で、概念的知識を踏まえて合意するための解決方法を考える。												
	⑨	【集団の討論】 概念的知識を踏まえて、どのような合意案が最もふさわしいかを学級全体で議論する。	A ・概念的知識を社会的事象と結び付けて理解している。	・追究課題について、概念的知識を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。									
	⑩	概念的知識を他国に当てはめて考える。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【収M①】【M③】	B ・概念的知識を理解している。	・追究課題について、概念的知識の一部を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。									
	⑪	単元テスト(国会・内閣・裁判所)を行う。	方法 ○発言の内容(⑩) ●「ステップチャート」の記述内容 ○単元テスト ○「単元レポート」の記述内容	○発言の内容(⑦～⑩) ●「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容	○「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容									
	⑫	意思決定した過程とこれまでの学習内容を振り返り、「単元レポート」としてまとめる。【拡・収RM①】【RM②】												

場	時	主な学習の流れ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えをもつ場 【拡散的思考】	①	経済のしくみと経済活動の意義、消費生活について捉える。	A ・資料を基に、日本の経済に関わる基本的な事項をまとめ、社会の状況を踏まえながら理解している。	・追究課題について、切り口を考察し、比較した上で意思決定している。	・社会の状況を捉えた上で、追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。
	②	生産活動と企業について捉える。			
	③	労働者の問題について捉える。	B ・資料を基に、日本の経済に関わる基本的な事項をまとめ、理解している。	・追究課題について、切り口を考察した上で意思決定している。	・社会の状況を捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。
	④	社会の状況を捉え、追究課題を確認する。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M①】			
			方法 ○発言の内容(①～③) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(④) ○「ステップチャート」の記述内容
考えを広げる場 【拡散的思考】	⑤	「利益の向上」が、企業と家計に及ぼす影響について捉える。	経済の好転につながる点(☆)・つながらない点(★)		
			企業の立場	家計の立場	
	⑥	「労働環境の整備」が、企業と家計に及ぼす影響について捉える。	利益の向上 ☆生産が増えれば利益が増えるので生産を増やした方が良い。 ☆企業がつぶれてしまうと、労働者を救えなくなるので、利益を優先した方が良い。 ★技術革新には多額の費用や長い労働時間が必要になるため、負担である。 ★利益ばかりを追い求め、長時間労働を行うことで、労働災害を引き起こしてしまう可能性がある。	☆企業の利益が増えることで、賃金が値上がりして生活が安定する。 ☆技術革新が進むことで、より高品質の製品を手に入れることができるようになる。 ★成果主義が進むことで、能力の低い労働者の仕事が減り、生活が不安定になる。 ★非正規労働者が増えてしまい、賃金が下がり、生活が不安定になる可能性がある。	
	⑦	意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M②】【M①】	労働環境の整備 ☆障害者を雇用することで、企業のイメージアップにもつながる。 ☆労働者の賃金を増やせば、個人消費が増え、企業の利益にもつながる。 ★雇用の確保などを重視しすぎると、技術革新が進まなくなる可能性がある。 ★福利厚生を充実させすぎると、企業の経営が苦しくなる。	☆企業が賃金を上げれば、ワーキングプアの問題を解消することができる。 ☆企業がワーク・ライフ・バランスを重視すれば、家庭を大切にしながら安心して働くことができる。 ★賃金を上げてもらうためには、企業が利益を得なければならず、長時間労働を強いられる可能性がある。 ★ワーク・ライフ・バランスを実現することは、周囲の理解を得なければならず、難しい。	
			方法 ○発言の内容(⑤・⑥) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(⑦・⑧) ○「ステップチャート」の記述内容
考えを創り上げる場 【収束的思考】	⑧	【個々の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、「ステップチャート」を使いながら意思決定した過程を説明し、検討する。議論の中で出された意見を基に、自分が意思決定した過程を振り返る。 意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M③】【M②】	A ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について、企業と家計の立場ごとに整理して理解している。	・追究課題について、振り分けられた立場に立って資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。
			B ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について理解している。	・追究課題について、資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。
			方法 ○発言の内容(⑤・⑥) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(⑦・⑧) ○「ステップチャート」の記述内容
	⑨	【立場の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、複数の立場の意見を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを議論する。これまでの学習内容や本時に議論したことを振り返り、「どうすれば日本の市場経済は好転するか」について考える。【RM①】 <b>概念的知識「企業が効率的に利益を上げ、家計がワーク・ライフ・バランスを実現した労働や生活ができれば、日本の経済は好転する」</b>	集団の討論で予想される生徒の発言例 切り口A「利益の向上」を選んだ班の「政策」例 「AIや最先端技術を積極的に導入し、効率よく利益を出すことで、労働者の賃金を向上させる」 ・企業にとっては、AIや最先端技術を積極的に導入することで、生産活動の効率化を図ることができ、その上で新たな製品を開発し、利益を得られる。家計にとっては、作業の機械化が進み、労働時間の短縮につながるため、ワーク・ライフ・バランスを実現させることができる。 切り口A「利益の向上」の生徒への反対意見例 ・AIの導入や最先端技術の導入で、たしかに労働時間の短縮につながるが、一方で単純労働者の雇用が失われたり、作業が少ない分の賃金は下がってしまうのではないかと。 切り口A「利益の向上」の生徒の反論例 ・短期的に見ると、一部の労働者にとってはデメリットが大きいが、長期的に見たときに企業の利益につながることは間違いない。それまでの労働者への補償が重要となる。 議論を基に合意した政策の例 「AIや最先端技術の導入を積極的に行う中で、労働者の最低限の生活を保障する福利厚生を充実させ、労働者が安心して働くことができるようにする」		
	⑩	各班で、概念的知識を踏まえて合意するための解決方法を考える。			
⑪	【集団の討論】 概念的知識を踏まえて、どのような合意案が最もふさわしいかを学級全体で議論する。	A ・概念的知識を社会的事象と結び付けて理解している。	・追究課題について、概念的知識を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。	
⑫	概念的知識を他の国に当てはめて考える。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【収M①】【M③】	B ・概念的知識を理解している。	・追究課題について、概念的知識の一部を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。	
⑬	単元テストを行う。				
⑭	意思決定した過程とこれまでの学習内容を振り返り、「単元レポート」としてまとめる。【拡・収RM①】【RM②】	方法 ○発言の内容(⑩) ●「ステップチャート」の記述内容 ○単元テスト ○「単元レポート」の記述内容	○発言の内容(⑨～⑩) ●「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容	○「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容	

場	時	主な学習の流れ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えをもつ場 【拡散的思考】	①	金融のしくみや金融政策について捉える。	A ・資料を基に、金融や財政のはたらきに関する基本的な事項をまとめ、社会の状況を踏まえながら理解している。	・追究課題について、切り口を考察し、比較した上で意思決定している。	・社会の状況を捉えた上で、追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。	
	②	為替相場について捉える。				
	③	財政のはたらきについて捉え、金融政策と比較しながら財政政策の役割を捉える。	B ・資料を基に、金融や財政のはたらきに関する基本的な事項をまとめ、理解している。	・追究課題について、切り口を考察した上で意思決定している。	・社会の状況を捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。	
	④	社会保障制度について捉え、追究課題を確認する。 意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M①】				
		追究課題「国民の生活を守るために、国の財政はどうあるべきか」 切り口A「収入を増やす」 切り口B「支出を減らす」	方法 ○発言の内容(①～③) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(④) ○「ステップチャート」の記述内容	
考えを広げる場 【拡散的思考】	国民の生活を守ることにつながる点(☆)・つながらない点(★)					
			政府の立場		国民の立場	
	⑤	「収入を増やす」政策が、政府と国民に及ぼす影響について捉える。	収入を増やす ☆増えた収入を国債費に充て、借金を減らすことができる。 ☆少子高齢化や情報化など、社会の状況に合わせた支出をしやすくなる。 ★主に増税をすることになり、国民に負担を与えることで信頼を得にくくなる。 ★社会保障や公共事業など、政府の仕事が増え、国債費だけでなく、一般歳出も増える。		☆社会保障が充実し、生活しやすくなる。 ☆生活困窮者への支援が行き届くことで、経済格差がなくなる。 ★納税の負担が大きくなる。 ★政府の仕事が増えることで、企業にとって自由な経済活動が行いにくくなる。	
	⑥	「支出を減らす」政策が、政府と国民に及ぼす影響について捉える。	支出を減らす ☆政府の仕事の負担が軽減し、効率よく財政活動を行いやすくなる。 ☆市場に自由な経済活動を促すことにつながり、経済が活発になる。 ★少子高齢化や離婚率の上昇による片親世帯への対応など、時代の変化に合わせた政策が取りにくくなる。 ★社会保障や公共事業などが不十分になり、治安の悪化につながり、財政が機能しなくなる。		☆企業にとって、自由な経済活動が行いやすくなる。 ☆税負担が軽減し、企業の自由な経済活動によってより向上したサービスを受けやすくなる。 ★社会保障が不十分になることで、社会的弱者にとって生活が苦しくなる。 ★経済格差が広がり、治安の悪化につながる。	
	⑦	意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M②】【M①】				
	⑧	【個々の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、「ステップチャート」を使いながら意思決定した過程を説明し、検討する。議論の中で出された意見を基に、自分が意思決定した過程を振り返る。 これまでの学習内容や本時に議論したことをまとめ、自己評価する。【拡M③】【M②】	A ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について、政府と国民の立場ごとに整理して理解している。	・追究課題について、振り分けられた立場に立って資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。	
			B ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について理解している。	・追究課題について、資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。	
			方法 ○発言の内容(⑤・⑥) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(⑦・⑧) ○「ステップチャート」の記述内容	
考えを創り上げる場 【収束的思考】	⑨	【立場の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、複数の立場の意見を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを議論する。これまでの学習内容や本時に議論したことを振り返り、「どのような政策であれば、国民の生活が守られるか。」について考える。 【RM①】 概念的知識「政府が適切に財源を確保し、国民の負担を分担する政策であれば、国民の生活が守られる。」	集団の討論で予想される生徒の発言例 切り口A「収入を増やす」を選んだ班の「政策」例 「消費税や揮発油税などの国税の内の間接税の税率を引き上げる」 ・消費税はすべての国民にとって平等に負担が及ぶため、負担を分担することができる。また、揮発油税や酒税などについては、税率を上げて使用を控えるようになると、電気自動車など環境に優しいものへの移行にもつながる。さらに、嗜好品についての増税は、負担が公正なものとなる。そうすることで、政府は増収分を社会保障費に充てたり、公共サービスを充実させたりすることができる。適切に財源を確保し、国民の負担が分担されるため、国民の生活を守ることにつながる。 切り口A「収入を増やす」の生徒への反対意見例 ・消費税については、平等であり、ある程度納得できる。しかし、揮発油税については、現時点で税率を上げると、困る人が多くいるのではないかと。 切り口A「収入を増やす」の生徒の反論例 ・たしかに、現時点で急激な増税は現実的ではない。しかし、ガソリンの使用を控えることは環境問題の解決にもつながってくるため、税率を少しずつ上げていくとともに、政府によって企業を補助する政策も必要である。 議論を基に合意した政策の例 「あらゆる税に対して増税するのではなく、負担が分担されるような税金から税率を上げる。また、増税以外にも政府が支援するしくみをつくることで、税負担をしても困らないようにして、政府にとっても適切に財源を確保できる政策にする」			
	⑩	各班で、概念的知識を踏まえて合意するための解決方法を考える。				
	⑪	【集団の討論】 概念的知識を踏まえて、どのような合意案が最もふさわしいかを学級全体で議論する。				
	⑫	概念的知識を他の国に当てはめて考える。 意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【収M①】【M③】	A ・概念的知識を社会的事象と結び付けて理解している。	・追究課題について、概念的知識を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。	
	⑬	単元テストを行う。	B ・概念的知識を理解している。	・追究課題について、概念的知識の一部を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。	
	⑭	意思決定した過程とこれまでの学習内容を振り返り、「単元レポート」としてまとめる。 【拡・収RM①】【RM②】	方法 ○発言の内容(⑫) ●「ステップチャート」の記述内容 ○単元テスト ○「単元レポート」の記述内容	○発言の内容(⑨～⑭) ●「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容	○「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容	

場	時	主な学習の流れ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えをもつ場 【拡散的思考】	①	主権国家、領土問題、国際連合、地域統合について捉える。	A ・資料を基に、国際社会に関わる基本的な事項をまとめ、社会の状況を踏まえながら理解している。	・追究課題について、切り口を考察し、比較した上で意思決定している。	・時代の特色を捉えた上で、追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。	
	②	宗教・文化、経済格差、地域紛争・テロ、軍縮について捉える。				
	③	エネルギー、環境問題について捉える。	B ・資料を基に、国際社会に関わる基本的な事項をまとめ、理解している。	・追究課題について、切り口を考察した上で意思決定している。	・時代の特色を捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。	
	④	社会の状況を捉え、追究課題を確認する。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M①】				
			追究課題「持続可能な社会を形成するために、日本がとるべき政策はどれか」 切り口A「国際協調」 切り口B「自国ファースト」	○発言の内容(①～③) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(④) ○「ステップチャート」の記述内容
考えを広げる場 【拡散的思考】	持続可能な社会を形成することにつながる点(☆)・つながらない点(★)					
	⑤	「国際協調」の政策が、日本と諸外国に及ぼす影響について捉える。	日本の立場		諸外国の立場	
			国際協調 ☆TPPやEUとの貿易の自由化を進めることで、経済が活性化する。 ☆サミットやG7、G20に参加することで、国際問題に連携して対応できる。 ★世界金融恐慌による不況のように他国の経済危機の影響を受けやすくなる。 ★産業の空洞化や外国人労働者の流入によって失業率が増加する。		☆パリ協定や気候行動サミットで、環境問題に連携して対応。 ☆国連によるSDGsの提唱により、発展途上国への支援を進める。 ★多国籍企業の進出に伴い、国家間の経済格差が拡大する。 ★難民や移民の対応により、ドイツやアメリカなど、先進国では負担が増大する。	
	⑥	「自国ファースト」の政策が、日本と諸外国に及ぼす影響について捉える。	自国ファースト			
			☆領土問題に対して毅然とした対応をとることができる。 ☆自国の伝統や文化を守ることで、主権国家として自立できる。 ★韓国をホワイト国(グループA)から除外により、経済連携が低迷。 ★資源ナショナリズムによって、資源の輸入が困難になる。		☆ローカル化による地域の歴史や伝統、固有の価値の見直しが進む。 ☆アメリカが世界の警察から離脱し、自国の利益を守ることで、再び世界を牽引できるようになる。 ★発展途上国や新興国が経済発展を優先することで環境問題が悪化する。 ★米中貿易摩擦により、保護貿易が進み、新冷戦への新たな火種となる。	
	⑦	意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M②】【M①】	A ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について、日本と諸外国の立場ごとに整理して理解している。	・追究課題について、振り分けられた立場に立って資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。	
	⑧	【個々の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、「ステップチャート」を使いながら意思決定した過程を説明し、検討する。議論の中で出された意見を基に、自分が意思決定した過程を振り返る。 意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M③】【M②】	B ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について理解している。	・追究課題について、資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。	
			○発言の内容(⑤・⑥) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(⑦・⑧) ○「ステップチャート」の記述内容	
考えを創り上げる場 【収束的思考】	⑨	【立場の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、複数の立場の意見を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを議論する。これまでの学習内容や本時に議論したことを振り返り、「どのような関係であれば、国際的な交流は深まるか」について考える。 【RM①】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">概念的知識「各国が自国の利益を守り、多国間で協調して格差をなくすことができれば、持続可能な社会を形成することができる」</div>	集団の討論で予想される生徒の発言例 切り口A「国際協調」を選んだ班の「政策」例 「全ての問題に対して、世界全体の利益を優先した政策を行う」 ・日本にとっては、世界全体の利益を優先することでTPPなどの経済連携や自由貿易が進展し、自国の経済が活発化し、利益を守ることにつながる。諸外国にとっても、パリ協定を採択するなど多国間で協調して環境問題に取り組む動きが進んでいるので、持続可能な社会を形成することにつながる。 切り口A「国際協調」の生徒への反対意見例 ・経済連携といっても、外国の安い商品が入ってこれば国内産の物が売れなくなり、自国の利益を守れなくなるのではないかと。 切り口A「国際協調」の生徒の反論例 ・競争が活発になることで、生産者も売れるための努力をするだろうし、消費者にとってもよりよい商品を選択できるので、利益を守ることにつながる。ただ、日本の中心産業は保護の必要性がある。 議論を基に合意した政策の例 「経済面では、国内産業を守るために米や牛肉など一部の関税は存続するが、環境問題や紛争、難民問題など、その他の国際的な問題については世界全体の利益を優先した政策を行う」			
	⑩	各班で、概念的知識を踏まえて合意するための解決方法を考える。				
	⑪	【集団の討論】 概念的知識を踏まえて、どのような合意案が最もふさわしいかを学級全体で議論する。	A ・概念的知識を社会的事象と結び付けて理解している。	・追究課題について、概念的知識を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。	
	⑫	概念的知識を他の時代に当てはめて考える。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【収M①】【M③】	B ・概念的知識を理解している。	・追究課題について、概念的知識の一部を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。	
	⑬	単元テストを行う。				
	⑭	意思決定した過程とこれまでの学習内容を振り返り、「単元レポート」としてまとめる。 【拡・収RM①】【RM②】	方法 ○発言の内容(⑫) ●「ステップチャート」の記述内容 ○単元テスト ○「単元レポート」の記述内容	○発言の内容(⑨～⑪) ●「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容	○「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容	